

各地域の特性に合わせた再生可能エネルギー利用モデルの提案

再生可能エネルギーを有効に活用できる技術・システムを開発し、地域分散型のエネルギー利用モデルを提案しました

背景

- 北海道内には、太陽光や風力等の自然エネルギーや燃料として活用できる廃棄物等が豊富にあります。現在はそれらを十分に有効活用できていません。
- 再生可能エネルギーを効果的に活用するためには、道内各地域の実情に応じベストミックスが必要です。

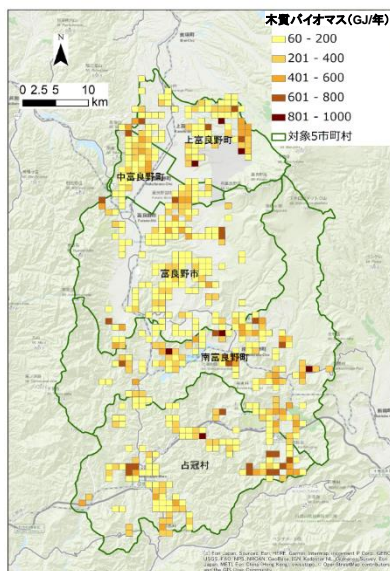
概要

北海道に適した再生可能エネルギーの利活用を求めて



成果

1 再生可能エネルギー量を見える化する (賦存量、利用可能量推定手法の開発)



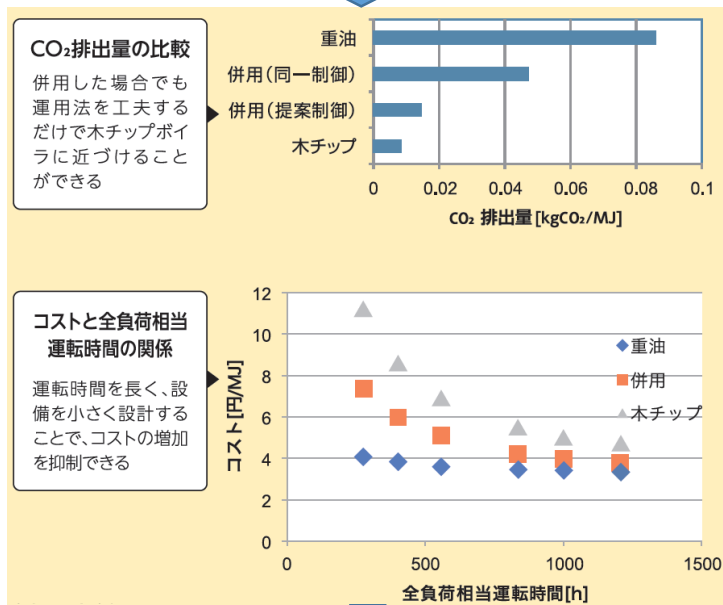
※その他のGISデータ (賦存量17種、利用可能量9種、需要量3種)

- ・畜産バイオマス
- ・農産バイオマス
- ・木質バイオマス
- ・廃棄物バイオマス
- ・地中熱・温泉熱

GIS情報として提供

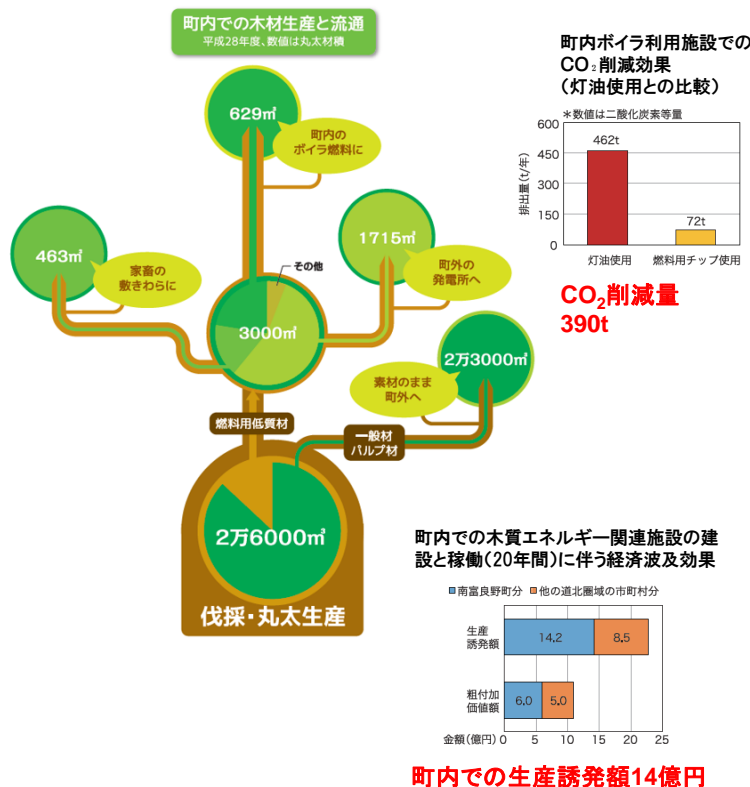
2 制御方法を工夫してバイオマスボイラを効率的に使う

バイオマスボイラと重油ボイラを併用



コストとCO₂排出量の削減

3 エネルギーの地産地消による経済・環境効果を示す



町内での生産誘発額14億円

期待される効果

- 地域のエネルギー特性や利用手法を提示することで、自治体による地域エネルギービジョンの策定と実現
- 地域のエネルギー利用モデルを提示することで、エネルギー関連産業の振興、新たな産業や雇用の創出